

衣類の未来



【役割を終えた衣類のその先は？】

コース・専攻： 生活環境コース 30 期

グループ名： I&YOU インフィニティ

テーマ設定の趣旨・目的

3年間の学びを生かし、「衣類」は世界中の年齢・性別・国籍に関係なく、太古の昔から現代まで、深くかかわりがあり、未来永劫無くならないと思われたためこれをテーマに選んだ

調査方法

衣類の製造、販売、購入後の行方など、インターネットや文献、フィールドワークで調査した他にグループメンバーの衣類に対しての考察と、生活環境コース 30 期生 30 名および神戸市シルバーカレッジ事務局 10 名にはアンケート調査を行った。

わかったこと

- ・ファッション業界は石油産業について世界第 2 位の汚染産業とみなされている
- ・約 30 年で衣類の市場は半減したが供給量は 2 倍になり、価格は下落している
- ・売れ残る事が前提で作られていて、短い製造サイクルで作るので在庫過多になっている
- ・ブランドのイメージの棄損を避けるため売れ残りは焼却や発展途上国で廃棄している
- ・発展途上国で不平等な労働を強いている
- ・衣類の素材と違う材質の洗濯表示タグや縫い糸が混合されていてリサイクルしにくい
- ・細かく分別できる工場が少ない
- ・回収 BOX 企業も、消費者も含めて回収専門業者に古着を渡したあとのことを知らない
- ・問題解決のためにアップサイクルとして不要になったものや、廃棄される予定のものに手を加え、新しい価値のある製品に、生まれ変わらせようと活動している団体もいる

わたしたちのできること

再活用、レンタルシェア、サステイナブルな素材を選び一着を長く大切に着て、廃棄を減らす意識と行動することで環境負荷の軽減に貢献できる。

サステイナブルなブランドやサービスについては家族や友人と情報共有することも重要である